

第4回議会運営委員会 概要報告

年 月 日	令和3年2月10日	会場	第1委員会室	案件	議会改革について 他
出席委員	塩田昌彦 倉澤宏 山田典幸 東川孝義 遠藤隆男 今村芳彦 高野美枝子 佐久間誠				
委員外議員	川村幸栄 高橋伸典				
欠席委員					

審査及び報告事項

1 議会改革について

(1) 議員定数の見直し及び常任委員会等の機能強化について

議員定数と議員報酬は切り離し、定数の見直しと常任委員会の機能強化を並行して協議していくことを確認しており、議員定数については各会派から出された本市の現状と課題及び将来の予測と展望について委員会として共通認識として議論を進めいくこととしていたことから、市の人口・面積、財政力を比較検討、また、市民アンケート調査の意見を参考にして各会派で協議した具体的な次期改選期の内容について報告を受けた。

市政クラブ→ 市民アンケート調査の結果、人口減少の傾向、また、類似市の定数等を踏まえ次期改選定数は16人。委員会数については定数の方向性が見えてきた中で議論。

市民ネット→ 市民アンケート調査はあくまで参考とし、本市の現状と課題、また、類似市人口・面積、財政力を比較検討しても現状の定数は突出して多くないことを踏まえ、現時点で結論を出すとする次期改選定数は現状維持。委員会数についても現状の課題解決、行政の監視機能を強化していくことを現在の所管委員会で取り組む必要性を踏まえ現状維持。

公 明→ 人口減少の傾向、市民アンケートの回答理由等を踏まえ次期改選定数は15人から16人。委員会数については議員定数削減を踏まえ現在の3委員会から2委員会に削減。

日本共産党→ 人口減少に対して本市が有する病院、大学のあり方によって良い展望につながることも、また、類似市比較はそれぞれの自治体の抱える課題が異なることから、あくまで参考であること等を踏まえ、次期改選定数は現状維持。委員会数についても各常任委員会において現状で様々な課題を有していることから現状維持。

以上、報告された内容について委員間で質疑を行なったうえで、比較対象とする類似市について市民アンケート調査の結果との整合性を図るため、比較対象をアンケートの参考資料とした本市含む9市とすること、また、人口推計についてもまち・ひと・しごと創生人口ビジョンとして統一していくことを確認。また、定数等の考え方については一致することができなかつたため、会派間での調整を依頼、次回議会運営委員会までに協議していただくことを確認、了承を得た。

2 その他

今後の議会運営委員会の開催日程、及び当面の各種会議の開催予定について確認した。

報告者 議会運営委員会 副委員長 倉澤 宏